

東燃ゼネラル石油株式会社

2010年12月期第1四半期決算概要

2010年5月14日



見通しに関する注意事項

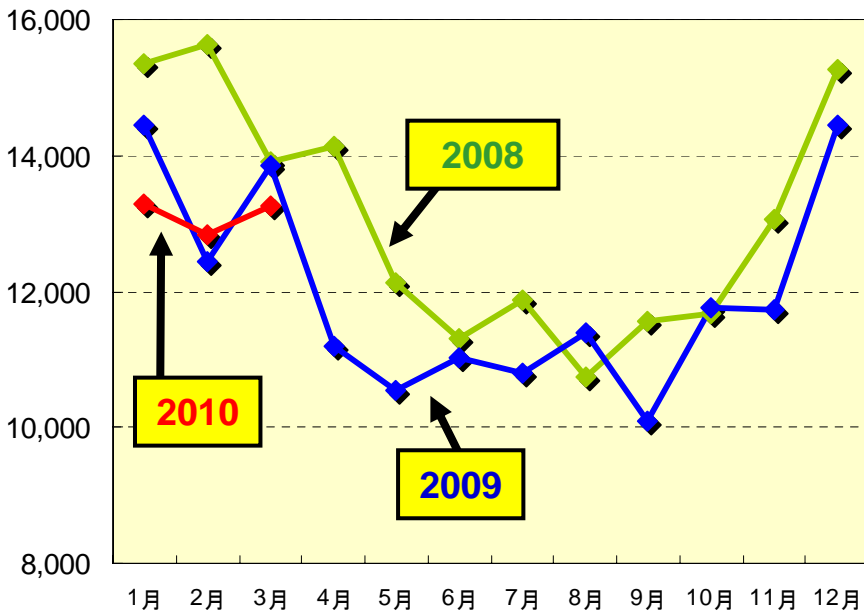
この資料に記載されている当社および当社グループ各社の現在の計画、見通しに関する事項は、日本および世界経済の動向、原油価格、円ドルの為替レート、需給の変動に大きく左右される業界の競争状況などにより影響を受けます。これらの影響により、実際の業績は本資料で記載した見通しとは大きく異なる可能性があることにご留意ください。

事業環境



- 2010年1-3月期(当期)の石油製品マージンは低水準で推移
 - » 製品輸出、国内販売ともに低水準のマージン
 - » 低調な国内石油製品需要
- 当期の石油化学製品は、マージン・数量ともに前年同期比若干の改善
- 当期の業績は2009年7-12月期に比べて改善; 石油製品マージンは3月に若干の改善

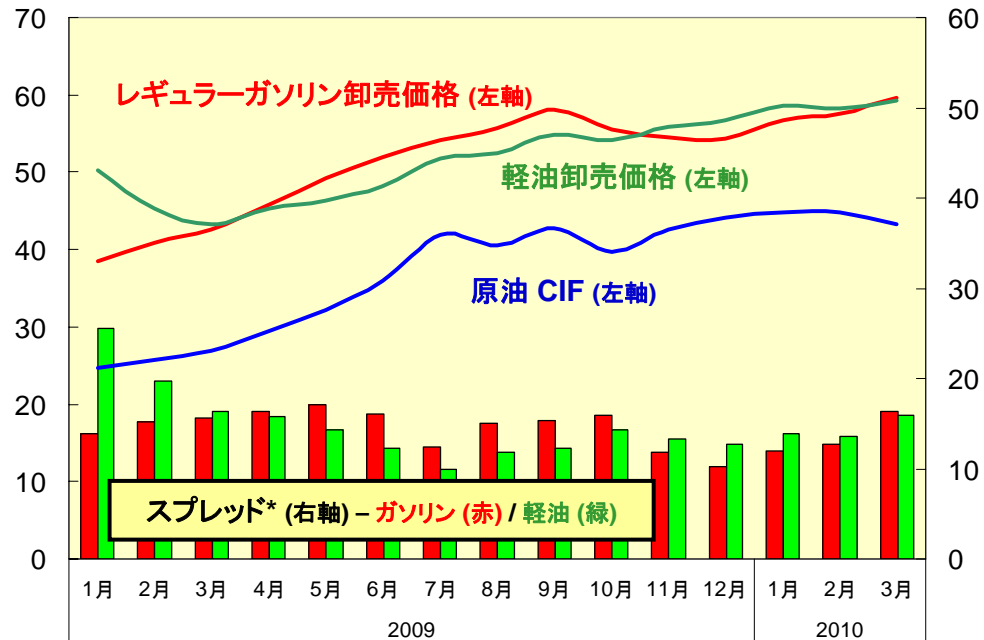
国内石油製品需要の推移 (2008年~)
(主要5油種*, 千KL)



(*) ガソリン/軽油/灯油/A重油/C重油

出典: 経済産業省「資源エネルギー統計」

原油と石油製品価格の推移 (2009年~)
(原油CIFとガソリン/軽油卸売価格, 円/リットル)



(*) スプレッド: 卸売価格 - 原油CIF

注: 石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

決算ハイライト



- 当期の営業利益は前年同期比53億円の増加
- 在庫関連利益、原油コスト認識時点の差によるマイナスの影響額を調整後の当期営業利益は、前年同期比186億円の減少
- 当期の特別損益には、バッテリーセパレーターフィルム(BSF)合併会社設立に伴う202億円の一時的な利益が含まれる

(億円)	'09 1-3月期	'10 1-3月期	増減
売上高	4,842	5,869	1,026
営業利益	131	184	53
経常利益	127	186	59
特別損益	-7	203	209
四半期純利益	77	316	239

在庫関連利益の調整	-18	-187	-169
原油コスト認識時点の差による影響額の調整	90	20	-70
調整後営業利益	203	17	-186
石油部門	225	-48	-273
石油化学部門	-23	64	87

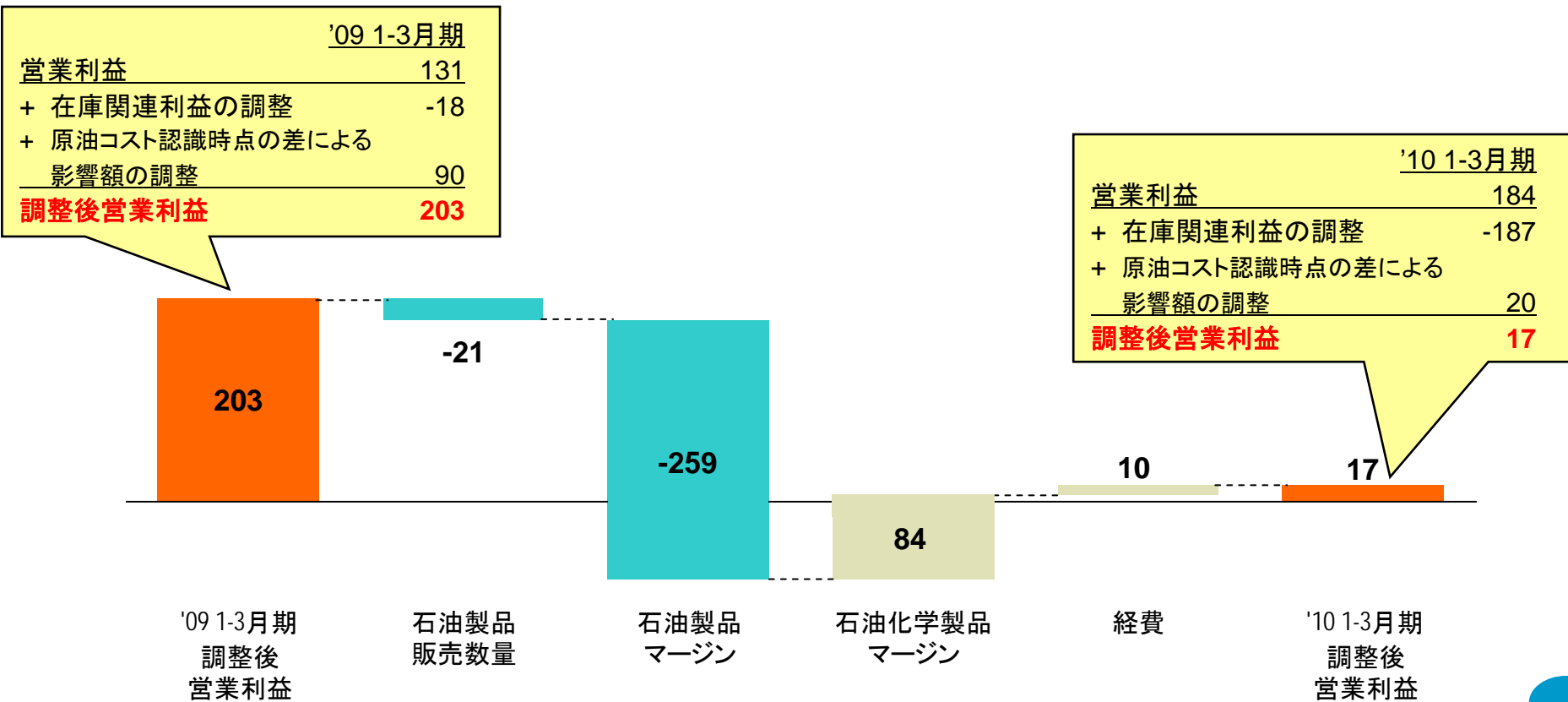
- 平均原油価格の上昇により、当期の売上高は前年同期比21%の増加
- 当期において特記すべき営業外損益はなし

営業利益増減の要因分析 (1)

[1-3月期連結営業利益、前年同期比]

- 石油製品マージンは、2009年4-6月期以降、国内販売および輸出の双方において低迷
当期の調整後営業利益は、石油製品マージン環境が高水準で推移した前年同期と対照的
- 石油化学部門では、世界的に需要の低迷した前年同期に比較すると、芳香族類およびオレフィン類
の高水準なマージン、ならびにオレフィン類の数量増加に支えられて、営業利益は増加

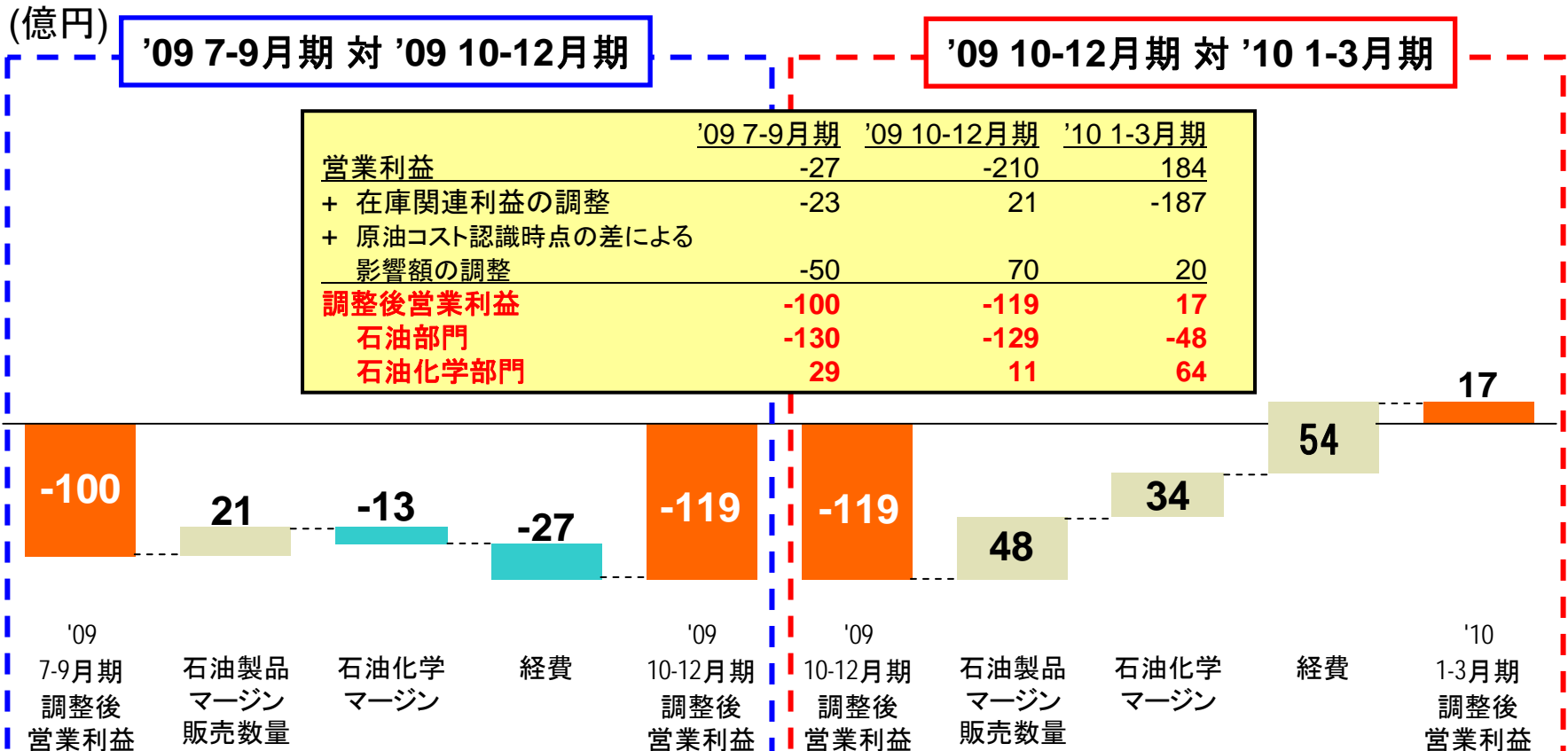
(億円)



営業利益増減の要因分析 (2)

[1-3月期連結営業利益、前年7-9月期 / 10-12月期比]

- 当期の石油部門における調整後営業利益は、3月に向けて石油製品マージンが回復したことにより、前年7-12月期比若干の改善
- BSF事業の損益は連結営業利益から除外(本年2月以降)
芳香族製品マージンの改善が石油化学部門の営業利益向上に大きく貢献



販売数量

- 販売チャネル毎の収益性を引き続き注視
 - » 厳しい石油製品事業環境の中で収益性を追求した結果、国内販売数量は減少
 - » 厳しい製品輸出環境: 輸出数量は前年同期比41%の減少
- オレフィン類の販売数量は、業界動向と同様、需要が低迷した前年同期に比べて回復

石油製品*

(千KL)

日本国内での販売

	'09 1-3月期	'10 1-3月期	増減	国内全体 増減 ****
ガソリン	2,652	2,494	-6.0%	+0.1%
灯油	1,046	883	-15.6%	-0.7%
軽油	758	721	-4.9%	+0.2%
A重油	594	512	-13.8%	-3.3%
C重油	334	397	+19.1%	-22.4%
主要5油種合計	5,383	5,007	-7.0%	-3.4%
LPG その他	646	669	+3.6%	
小計	6,029	5,675	-5.9%	
輸出**	1,343	797	-40.6%	
その他***	871	881	+1.1%	
石油製品合計	8,243	7,353	-10.8%	

注記:

* 連結ベース、バーターを除く

** 保稅販売を除く

*** 潤滑油、原油、国内のエクソンモービルグループ内の転送取引などを含む

**** 出典: 経済産業省「資源エネルギー統計」

石油化学製品

(連結ベース)

(千トン)			
オレフィン類他 (東燃化学分)	371	418	+12.8%
芳香族類他 (東燃ゼネラル分)	213	202	-5.2%
石油化学製品合計	584	620	+6.2%

設備稼働率 (常圧蒸留装置ベース) 79% 72% 81%

業績予想 [連結]

- 2月に発表した2010年連結業績予想は変更なし
 - » 石油化学部門の営業利益は当初の予想より20億円高くなることを想定
 - » 2010年1-3月期に発生した原油コスト認識時点の差による影響額 マイナス20億円を反映
なお、2010年4-12月はこの影響額はゼロと想定
 - » 2010年1-3月期に発生した187億円の在庫関連利益は4-6月期に解消、通期の在庫関連損益はゼロと想定
- 業績は以下の諸要因の影響を受ける
 - » 国内外の経済動向および石油及び石油化学製品の需給バランス
 - » 原油価格の動向
 - » 在庫数量の変動とそれに伴う在庫関連利益の増減

(億円)	実績			業績予想 (今回)*	
	'10 1-3月期	業績予想 (2月発表) 1-6月期	'10 通期	1-6月期	'10 通期
売上高	5,869	12,000	24,000		
営業利益	184	70	120	} 変更なし	
経常利益	186	70	140		
特別損益	203	200	190		
当期純利益	316	250	290		
在庫関連利益の調整	-187	0	0		
原油コストの認識時点の差による 影響額の調整	20	0	0	→	20
調整後営業利益	17	70	120	→	140
石油部門	-48	10	30		
石油化学部門	64	60	90	→	110

(*) 2010年3月平均ドバイ原油価格77.3ドル/バレル、為替 90.5円/ドルを前提に算出

キャッシュ・フロー、借入/資本 [連結]

(億円)

'10 1-3月期

営業活動 / 投資活動

66

税引前純利益	389
法人税等の支払	-17
減価償却費	65
持分変動利益	-202
運転資本の増減等	-119 *
投資活動	-50

■ 揮発油税等の支払いタイミングの差により、2010年3月末ネット借入金は若干の増加

■ 健全な財務体質を維持

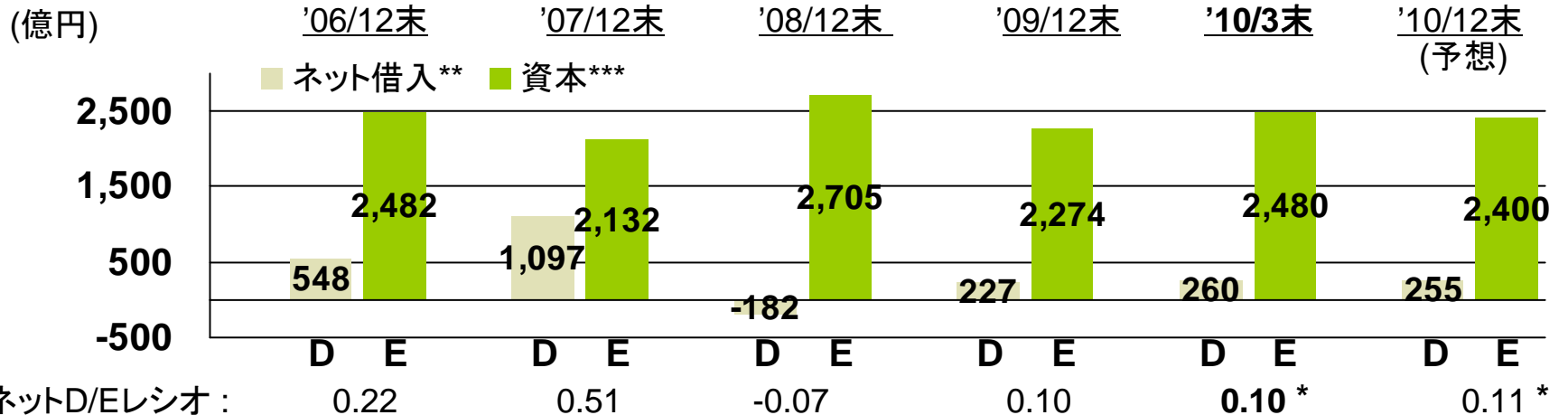
財務活動

-66

ネット借入金の増加	34
配当金の支払	-100

現預金の増減

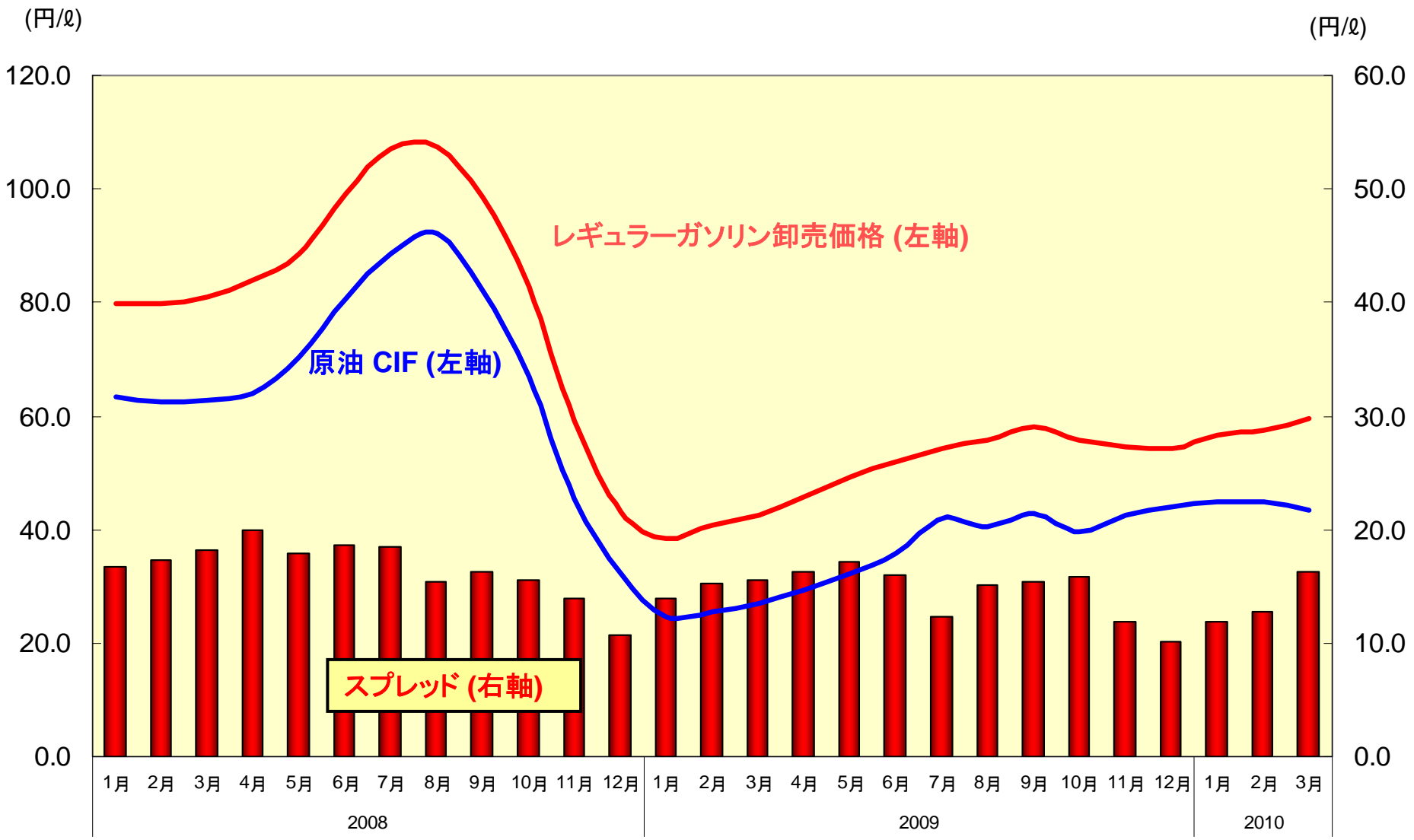
0



* 新合弁会社からの預かり金は除外して算出 ** 現預金・貸付金等の影響を除いた借入金 *** 少数株主持分を除く純資産

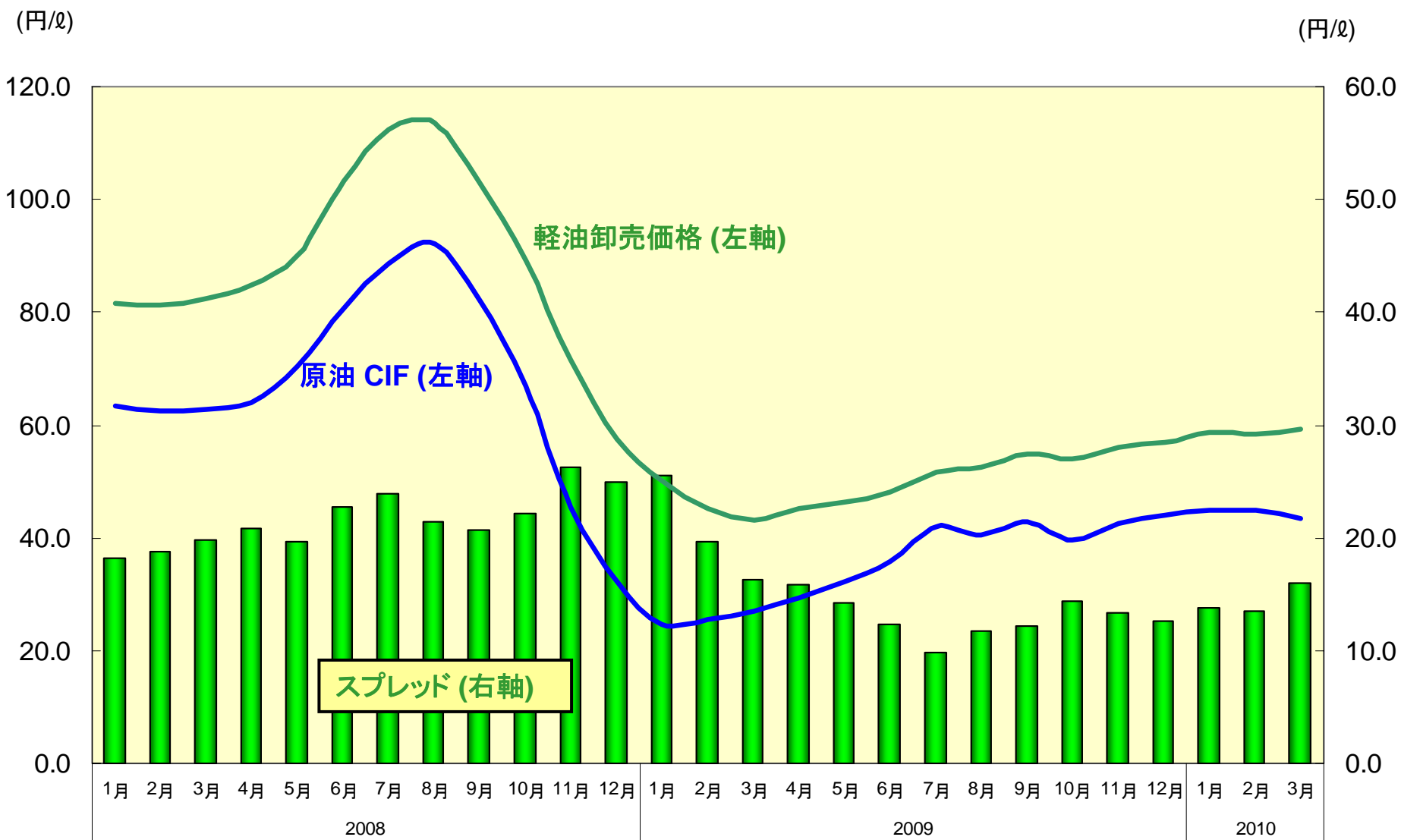
參考資料

価格スプレッド (ガソリン卸売価格－原油CIF)



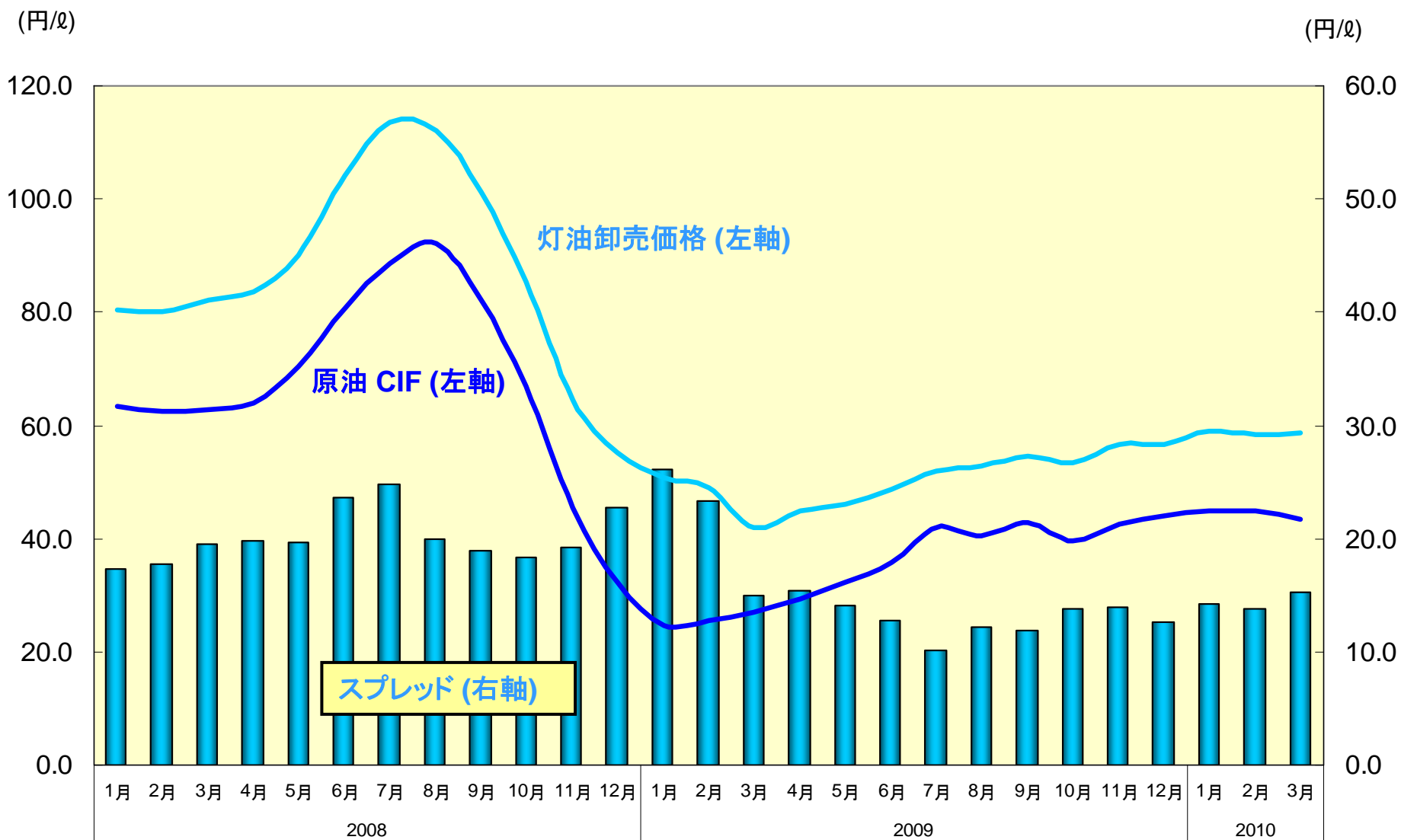
注: 石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

価格スプレッド (軽油卸売価格 – 原油CIF)



注: 石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

価格スプレッド (灯油卸売価格 – 原油CIF)



注: 石油連盟ならびに石油情報センターのデータに基づいて作成

営業利益の詳細 (2008年-2010年1-3月期)



TonenGeneral

営業利益内訳 (単位:億円)	Breakdown of Operating Income (Unit: 100MYen = Oku Yen)	'10 1-3月期 1Q10	'10 4-6月期 2Q10	'10 7-9月期 3Q10	'10 10-12月期 4Q10	'10 通期 FY2010
石油部門(実質)	Oil segment and others (Substantial)	-48				
石油化学部門	Chemical segment	64				
在庫関連利益	Inventory effects	187				
原油コスト認識時点の差による影響	Lead lag effects	-20				
総合計	Total	184				

営業利益内訳 (単位:億円)	Breakdown of Operating Income (Unit: 100MYen = Oku Yen)	'09 1-3月期 1Q09	'09 4-6月期 2Q09	'09 7-9月期 3Q09	'09 10-12月期 4Q09	'09 通期 FY2009
石油部門 他(実質)	Oil segment and others (Substantial)	225	-74	-130	-129	-108
石油化学部門	Chemical segment	-23	21	29	11	38
在庫関連利益	Inventory effects	18	54	23	-21	74
原油コスト認識時点の差による影響	Lead lag effects	-90	-240	50	-70	-350
総合計	Total	131	-239	-27	-210	-346

営業利益内訳	Breakdown of Operating Income	'08 1-3月期 1Q08	'08 4-6月期 2Q08	'08 7-9月期 3Q08	'08 10-12月期 4Q08	'08 通期 FY2008
石油部門 他(実質)	Oil segment and others (Substantial)	-114	-10	-149	355	82
石油化学部門	Chemical segment	93	86	70	-110	139
在庫関連利益	Inventory effects	523	-327	130	-186	141
原油コスト認識時点の差による影響	Lead lag effects	15	-400	430	700	745
資産売却に伴う利益	Gain related to divestment	110				110
総合計	Total	627	-650	481	760	1,217